平成 21 年 6 月 2 日発行　第 343 号　宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module “Kibo”
WEEKLY NEWS: Vol. 343

国際宇宙ステーション（ISS）長期滞在クルーの６人常駐体制を開始した若田宇宙飛行士ら第 20 次長期滞在クルー（提供：NASA）

今週の国際宇宙ステーション

最初の ISS 構成要素打上げから **3847** 日経過

ISS クルー 6 人体制開始、全ての国際パートナの宇宙飛行士が軌道上に揃う

第 20 次長期滞在クルーの ISS 滞在は、ゲナディ・パダルカ、マイケル・バラット両宇宙飛行士は 66 日、若田光一宇宙飛行士は 76 日が経過しました。

新たに ISS 長期滞在クルーに加わったフランク・ディビュナー、ロバート・サースク、ロマン・ロマネンコ宇宙飛行士の ISS 滞在は 5 日が経過しました。

3 人の新たなクルーを乗せたソユーズ宇宙船（19S）は、5 月 27 日午後 7 時 34 分に、ロシアのソユーズロケットでカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地から打ち上げられ、5 月 29 日午後 9 時 34 分に ISS へドッキングしました。同午後 11 時 14 分、19S と「ザーリャ」（基本機能モジュール）間のハッチが開けられ、クルーが ISS に入室して、ISS の 6 人常駐体制が開始されました。

新しい仲間を迎えた若田宇宙飛行士ら ISS 長期滞在クルー（提供：NASA）

ハッチの開放に続き、3 人の新たなクルーを歓迎するセレモニーと、ISS の安全に関する説明が行われました。歓迎セレモニーで、若田宇宙飛行士は、「新しい仲間を迎えることができて、今日は本当に素晴らしい日です」と語りました。

第 20 次長期滞在クルーは、ISS の 6 人常駐体制が開始された記念すべき長期滞在クルーであるとともに、ISS 計画に携わる米国、ロシア、日本、ヨーロッパ諸国、カナダの全ての国際パートナの宇宙飛行士が軌道上に揃う初の長期滞在クルーとなりました。

パダルカ、ロマネンコ両宇宙飛行士はロシア、バラット宇宙飛行士は NASA、ディビュナー宇宙飛行士は欧州宇宙機関（ESA）、サースク宇宙飛行士はカナダ宇宙庁（CSA）、そして若田宇宙飛行士は JAXA の宇宙飛行士です。

19S の打上げの様子（©FSA）

ISS に接近する 19S（提供：NASA）

Website info

国際宇宙ステーションへのクルー交代／ソユーズ宇宙船交換ミッション 19S
http://iss.jaxa.jp/iss/19s/index.html

国際宇宙ステーション
http://iss.jaxa.jp/iss/index.html

FACET実験、STS-127（2J/A）ミッションに向けた準備を実施

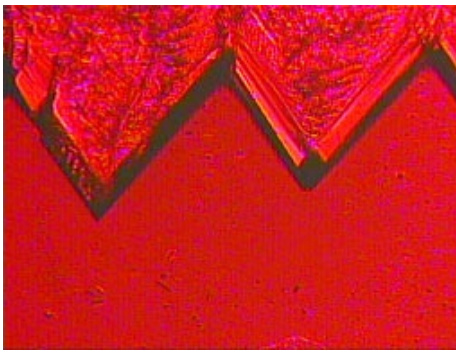
「きぼう」日本実験棟では、先端材料の結晶成長実験「ファセット的セル状結晶成長機構の研究（FACET）」が順調に行われたほか、「きぼう」の最後の構成要素である船外実験プラットフォームと、船外実験装置などを搭載した船外パレットをISSへ運ぶSTS-127（2J/A）ミッションに向けた作業として、船外実験プラットフォーム結合機構（EFBM）の運用準備が行われました。

米国時間5月27日、EFBMの運用準備として、若田宇宙飛行士は、船内実験室のワークステーションラック内に与圧/曝露結合機構操作表示盤（BCDU）を設置し、BCDUの機能確認を行いました。

Website info

ファセット的セル状結晶成長機構の研究（FACET）
http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/first/facet/

若田宇宙飛行士　ウィークリーレポート
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/wakata/weekly/



顕微鏡で取得されたFACET実験の結晶の画像（4月9日取得）（©JAXA）

STS-127ミッションの準備状況

エンデバー号が39B射点から39A射点へ移動

米国時間5月31日、STS-127（2J/A）ミッションの打上げに向けて、NASAケネディ宇宙センター（KSC）では、スペースシャトル・エンデバー号が39B射点から39A射点へ移動しました。今後、先に39A射点へ運ばれた「きぼう」船外実験プラットフォームと、船外実験装置などを搭載した船外パレットをペイロードベイ（貨物室）へ搭載する作業が行われる予定です。エンデバー号の打上げ目標日時は、6月13日午後8時19分です。正式な打上げ日は、米国時間6月3日に開催予定の飛行準備審査会（FRR）後に発表されます。

Website info

2J/Aミッション
http://kibo.jaxa.jp/mission/2ja/

39A射点に到着したエンデバー号（提供：NASA）

インフォメーション

「ISS宇宙飛行士の'Moon Score'」で撮影された月の写真が展示されています

文化/人文社会科学利用（EPO）パイロットミッション「ISS宇宙飛行士の'Moon Score'」代表研究者の野村仁京都市立芸術大学大学院教授の展示会「野村仁 変化する相 ー時・場・身体」にて、第17次/第18次長期滞在クルーのグレゴリー・シャミトフ宇宙飛行士と、ISS長期滞在中の若田宇宙飛行士が「きぼう」船内実験室の窓から撮影した月の写真の一部が展示されています。展示会の案内については以下のサイトをご覧ください。

Website info

野村仁　変化する相 ー時・場・身体
http://www.nact.jp/exhibition_special/2009/03/nomura.html

more information

- 2009年国際公募 ライフサイエンスおよび宇宙医学分野の国際宇宙ステーション利用実験テーマの募集（仮申込み受付6月12日まで）
  http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/application/lifeintao2009.html
- 「きぼう」船内実験室 第2期利用後半期間に向けた候補テーマの募集（仮申込み受付6月15日まで）
  http://kibo.jaxa.jp/experiment/theme/application/pm0202application.html

ISS・きぼうウィークリーニュース　第343号
問い合わせ先：宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
ホームページ http://iss.jaxa.jp/　Eメール kibo-pao@jaxa.jp
ウィークリーニュースメーリングサービス登録 http://iss.jaxa.jp/weekly/
※特に断りのない限り日付は日本時間です。
※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。